Otsuka

Otsuka Chemical Co., Ltd.

会　社　案　内

はじめに

大塚グループ　企業理念

Otsuka-people creating new products
for better health worldwide

世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する

大塚化学企業理念

私も信頼　会社も信頼　信頼は社会の夢
技術と心で信頼の構築
信頼と人の輪を世界に拡げよう

大塚化学は、この企業理念のもと、創造的技術でお客様に貢献、信頼される企業を目指しています。

大塚化学健康宣言

大塚グループ企業理念“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”（世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する）ならびに大塚化学の企業理念“私も信頼、会社も信頼　信頼は社会の夢　技術と心で信頼の構築　信頼と人の輪を世界に拡げよう”の実現には社員一人ひとりの心身の健康が不可欠です。
大塚化学は、全社員が信頼関係を築きながら生き生きと働くことが出来る職場環境を実現するとともに、社員の健康の維持・増進に組織全体で取り組む事を宣言します。

2020年6月
大塚化学株式会社
代表取締役社長　土佐浩平

ごあいさつ

大塚化学は、
「Otsuka-people creating new products for better health worldwide」
という大塚グループの企業理念のもと、世界の人々の暮らしや健康に役立つ素材を生み出してきました。

１９５０年、海水の‘にがり’を利用した製品から始まり、自然の恵みを利用した製品や技術は、今日、多岐に渡る産業分野で利用されるに至っております。
その礎は、「私も信頼　会社も信頼　信頼は社会の夢　技術と心で信頼の構築　信頼と人の輪を世界に拡げよう」という大塚化学の企業理念であり、BtoBビジネスにおいて、「信頼」を大切にすることで「ユニーク」な化学製品を生み出す企業として成長してまいりました。

そして今、私たちは、
「素材の力を顧客と共に創造的に、かたちにする会社」
をあるべき姿とし、事業を進めております。

常にお客様に寄り添うことで、顧客に多様なソリューションを提供する会社でありたいと願い、「素材の力」を「かたち」にする会社へと事業領域を拡大してまいります。

これからも大塚化学は、地球環境と豊かな暮らしに貢献する企業としてあり続けるため、一人一人がコンプライアンスの順守に努める中、更に「ユニーク」な製品を生み出す会社を目指してまいります。

概　要

大塚化学株式会社 Otsuka Chemical Co., Ltd.

- 設　　立　1950年8月29日
- 資 本 金　50億円
- 代 表 者　代表取締役社長　土佐　浩平
- 事業内容　化学品の製造、販売
- 本　　社　〒540-0021 大阪府大阪市中央区大手通3-2-27
- 従 業 員　連結1,944名　単体506名　（2022年12月末現在）
- 売 上 高　連　結※：80,647百万円（2022年度）
  単　体：33,825百万円（2022年度）

※連結数値は、当社と化学品事業関連会社（海外現地法人を含む）の連結を算出しており、監査を受けておりません。

事業所一覧

本社
〒540-0021　大阪府大阪市中央区大手通3-2-27
TEL：06-6943-7701(代)

東京本部
〒101-0048　東京都千代田区神田司町2-2
TEL：03-5297-2727

中部エリア事業開発室
〒450-0002　名古屋市中村区名駅4-5-28　桜通豊田ビル13F
TEL：052-571-5526

材料開発研究所・ゴム薬開発研究所・機能性高分子研究所・技術開発研究所
〒771-0193　徳島県徳島市川内町加賀須野463
TEL：088-665-1689

徳島工場
〒771-0193　徳島県徳島市川内町加賀須野463
TEL：088-665-1516

松茂工場
〒771-0213　徳島県板野郡松茂町豊久字豊久開拓139-40
TEL：088-699-7980

鳴門工場
〒772-8601　徳島県鳴門市里浦町里浦字花面615
TEL：088-684-2266

国内子会社

エムジーシー大塚ケミカル株式会社
Otsuka-MGC Chemical Company,Inc.

設立年月日：2004年4月1日
資　本　金：4億5千万円
住　　所：〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀一丁目5番16号 JMFビル肥後橋 01 2階
U　R　L：http://www.moc-hh.co.jp

Phone：06-6445-1501
Fax：06-6445-1502
事業内容：水加ヒドラジンの製造及び販売

エムジーシー大塚ケミカル株式会社は2004年4月に大塚化学株式会社と三菱ガス化学株式会社がヒドラジン事業を独立させて設立された日本で唯一そして世界で最大の「水加ヒドラジン」の事業会社です。水加ヒドラジンは主用途であった水処理関連、化学発泡剤関連と農業用薬剤関連に加えて電子材料、医療、発電所、樹脂、化学品の各分野へと用途が広がっており、益々「人々の豊かで安全な生活」に欠かせない重要な製品となっております。世界トップの水加ヒドラジン専業メーカーとしての責任と誇りで、さらに事業領域を広げ、環境、エネルギー分野へ貢献できるように努めてまいります。

東山フイルム株式会社
Higashiyama Film Co., Ltd.

設立年月日：1949年5月23日
資　本　金：10億87百万円
住　　所：愛知県名古屋市中村区名駅4-5-28　桜通豊田ビル13F
U　R　L：http://www.hynt.co.jp/

Phone：052-589-9105
Fax：052-589-9107
事業内容：工業用フィルムの加工及び販売

東山フイルム株式会社は1949年に設立し、すでに半世紀以上の歴史があります。創業時は、扇風機のモータや変圧器などの紙巻線加工を得意とし、その後、独自の自社開発設備でポリエステルフィルムの成形加工をはじめました。現在では、タッチパネル市場向けの光学特性フィルムコーティングなどポリエステルフィルムに機能を付加し、高付加価値のある新たな材料を提供しています。歴史と信頼を実績に、原材料メーカーと連携した「材料選定力」、自社生産設備で実現する「加工技術力」、それを実現する「人材とフィールド」でさらなるニーズにお応えします。

シンクレスト株式会社
SynCrest Inc.

設立年月日：2022年12月12日
資　本　金：9,800万円
住　　所：神奈川県藤沢市村岡東二丁目26番地の1（湘南ヘルスイノベーションパーク内）
U　R　L：https://syncrest.com

Phone：0466-28-6050
Fax：0466-28-6050
事業内容：中分子医薬品向け受託研究開発
製造事業及び非医薬品製造事業

シンクレストは中分子医薬品CRDMO（Contract Research, Development and Manufacturing Organization、医薬品受託研究開発製造）のリーディングカンパニーを目指し、創薬支援のためのライブラリー合成からプロセス開発、臨床試験用治験薬製造、上市書類対応から商用生産まで、ワンストップで請け負います。当社は医薬品会社と研究機関のベストパートナーとして、先進的なインライン計測統合型連続フロー合成法※を活用し、創薬バリューチェーンにおけるQ（Quality）、D（Delivery）、C（Cost）に関する課題やニーズにお応えするとともに、探索研究・創薬研究・原薬製造という顧客の幅広い要求に、「迅速」「高効率」「高品質」をキーワードとして、特殊原料から中間体、中分子原薬まで一貫した受託研究開発製造サービスを提供してまいります。

株式会社 アグリベスト
Agribest Co.,Ltd.

設立年月日：2003年9月1日
資　本　金：8000万円
住　　所：〒771-1610 徳島県阿波市市場町香美字西原25番地
U　R　L：http://www.agribest.jp/

Phone：0883-36-6201
Fax：0883-36-6202
事業内容：農産物の生産及び販売

アグリベストは自然の力を最大限に引き出し、“おいしく”、“新鮮で”、“栽培履歴が明らかな”「顔」の見える農産物を消費者に提供することを目的に設立されました。「品質と価格」で消費者に納得いただける“安全で安心”な農産物を提供いたします。最新の栽培技術を駆使した作物生産事業を通して、生産者である農家に対しても“安心”を提供し、収益拡大にも貢献いたします。

夢とまと

夢とまとジュース

夢とまとジャム

奥出雲美人

大塚ターフテック株式会社
Otsuka Turftech Co.,Ltd.

設立年月日：2007年3月12日
資　本　金：2千万円
住　　所：〒596-0823 大阪府岸和田市下松町1256番地
U　R　L：http://turftech.otsukac.co.jp/

Phone：072-427-4781
Fax：072-426-0597
事業内容：人工芝生、人工クレイテニスコートの製造販売

より良い製品を目指し、競技者、施設管理者の立場で研究を重ねています。全国の競技場、テニスコートをはじめ、屋内外スポーツ施設の人工芝生分野で、国内トップメーカーとして数々の施工実績を上げています。また、日本の気候風土に合せて開発した新世代の人工クレイコート「G-CLAY」が日本ソフトテニス連盟等から公認を受けました。2012年の北海道・円山公園庭球場での採用を皮切りに、2015年開催の第70回和歌山国体ソフトテニス会場で20面、2017年開催の第72回愛媛国体ソフトテニス会場で17面それぞれ採用されています。今後もより良いスポーツ環境づくりに貢献していきます。

新世代人工クレイテニスコート

大塚オーミ陶業株式会社
Otsuka Ohmi Ceramics Co., Ltd.

設立年月日：1973年7月14日
資　本　金：3億円
住　　所：〒540-0021 大阪市中央区大手通3-2-21
U　R　L：http://www.ohmi.co.jp/

Phone：06-6943-6695
Fax：06-6943-6487
事業内容：陶板(toban)の企画、設計、製作、施工

大塚オーミ陶業は、1973年の設立以来、大型陶板、テラコッタ、OTセラミックスを3つの軸とし、平面、立体のアートから建築分野、暮らしを彩る生活の領域に至るまで、お客様のニーズに合わせ、幅広く対応しております。また、複製技術においても高い評価をいただいており、キトラ古墳石室内壁画を原寸大の陶板で復元するなど、貴重な文化財の記録保存にも活用されています。大塚国際美術館では1000余点の原画を原寸大の陶板で再現しています。

海　外
ネットワーク

グローバルな信頼獲得を目指して。　海外８カ国に拡がるネットワーク。

１９８８年に韓国でヒドラジンを製造販売する会社を設立して以来、世界各地に生産販売拠点を設置しています。それぞれの国や地域で尊敬される「よき企業市民」となるよう、私たちは日々努力を続けてまいります。

海外拠点

❶ KOC株式会社

KOC Co.,Ltd.
設立年月日：1988年11月2日
資本金：150億ウォン
住　所：大韓民国 蔚山広域市 蔚州郡
温山邑 梨津路67-34
Phone：+82-52-240-1200
Ｆａｘ：+82-52-238-5886
事業内容：水加ヒドラジンの製造販売
ＵＲＬ：http://www.ikoc.co.kr

❷ 东舢（上海）塑胶薄膜有限公司

Higashiyama（ShangHai) Film Co., Ltd.
設立年月日：2019年3月15日
資本金：2百万ドル
住　所：中国 上海市闵行区蘇虹路29
33号虹桥天地3号楼 505室
Phone：+86-21-3471-0325
Ｆａｘ：+86-21-3471-0028
事業内容：工業用フィルムのマーケティング
と販売

❸ PTラウタン大塚ケミカル

PT Lautan Otsuka Chemical
設立年月日：1989年7月17日
資本金：22.5百万ドル
住　所：Graha Indramas, 5th floor Jl.
AIP Ⅱ K.S Tubun Raya No.77,
Jakarta 11410 Indonesia
Phone：+62-21-5367-1251
Ｆａｘ：+62-21-5367-1250
事業内容：発泡剤の製造販売
ＵＲＬ：https://lautanotsuka.com

❹ ヘブロンS.A.

Hebron S.A.
設立年月日：1961年11月22日
（買収1989年11月16日）
資本金：330千ユーロ
住　所：Calle Girona, 20 08120 - La
Llagosta,Barcelona,Spain
Phone：+34-93-574-2011
Ｆａｘ：+34-93-560-1559
事業内容：樹脂添加剤を中心とした一般
化学品の製造販売
ＵＲＬ：https://www.hebronsa.es/

❺ トロセレン イベリカ S.A.

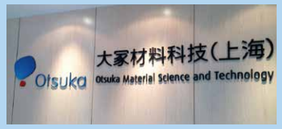
Trocellen Iberica S.A.
設立年月日：1988年12月20日
（資本参加2006年7月31日）
資本金：6,664千ユーロ
住　所：Avda.Avilla,s/n E-28804,Alcala
de Henares,Madrid,Spain
Phone：+34-91-885-5500
Ｆａｘ：+34-91-885-5501
事業内容：ポリオレフィン発泡体製造販売
ＵＲＬ：https://trocellen.com/

❻ 大冢化学管理（上海）有限公司

Otsuka Chemical (Shanghai) Co., Ltd.
設立年月日：2016年10月26日
資本金：2百万ドル
住　所：中国 上海市闵行区蘇虹路29
33号虹桥天地3号楼 505室
Phone：+86-21-6236-8548
Ｆａｘ：+86-21-6236-8160
事業内容：当社及び張家港大塚化学
製品の中国国内への販売

❼ 張家港大塚化学有限公司

Zhangjiagang Otsuka Chemical Co.,Ltd.
設立年月日：2004年10月26日
資本金：15百万ドル
住　所：中国 江蘇省張家港市 江蘇揚子江
国際化学工業園　南海路33号
Phone：+86-512-5690-7600
Ｆａｘ：+86-512-5690-7616
事業内容：チタン酸塩、特殊コンパウンドの
製造販売
ＵＲＬ：http://www.otsukac.com.cn



❽ 大冢材料科技（上海）有限公司

Otsuka Material Science and Technology
(Shanghai) Co.,Ltd.
設立年月日：2013年3月21日
資本金：10百万人民元
住　所：中国 上海市徐汇区桂平路471号
10号楼底**层**A、B座,200233
Phone：+86-21-6091-7675
Ｆａｘ：+86-21-6191-2937
事業内容：高付加価値コンパウンド、配合剤
の研究開発及び評価
ＵＲＬ：http://www.otsukamst.com/

❾ 高寶華南有限公司

Noble Skill Limited
設立年月日：2004年2月27日
（買収 2014年1月10日）
資本金：28.14百万香港ドル
住　所：Unit 1503C,15/F., Eastern Centre,
1065 King's Road, Quarry Bay, Hong Kong.
香港鰂魚涌英皇道1065号東達
中心15楼1503C室」
Phone：+852-2861-0995
事業内容：樹脂、樹脂加工品及び
組立加工品の販売

❿ 大塚華南精密器械（深圳）有限公司

Otsuka South China Precision Instruments
(Shenzhen) Co., Ltd.
設立年月日：2011年11月13日
（買収 2014年1月10日）
資本金：6.22百万人民元
住　所：中国 広東省深圳市宝安区沙井街道
同富裕工業園A-5区B10
Phone：+86-755-8144-4001
Ｆａｘ：+86-755-8144-4008
事業内容：プラスチック精密部品製造販売

⓫ 大塚ケミカルインディア

Otsuka Chemical (India) Pvt. Ltd.
設立年月日：2006年1月2日
資本金：415百万ルピー
住　所：402, JMD Pacific Square,
Sector 15, Part-2, Gurgaon
(Haryana) 122001, India
Phone：+91-124-4597979
Ｆａｘ：+91-124-4597980
事業内容：医薬中間体、化学品の製造、販売
ＵＲＬ：http://www.otsukaindia.com/

⓬ 大塚ケミカルアメリカInc.

Otsuka Chemical America, Inc.
設立年月日：2014年2月6日
資本金：27百万ドル
住　所：100 The Lakes Parkway,
Griffin GA 30224 USA
Phone：+1-678-572-4665
事業内容：チタン酸塩「テラセス」の製造販売
ＵＲＬ：https://www.otsukachemicalamerica.com/

海外事務所

⓭ ベトナム事務所

Rep. Office of Otsuka Chemical Co., Ltd. in HCMC
住　所：7F, Empire Tower Building,
26-28 Ham Nghi Street, Ben
Nghe Ward, District 1,
Ho Chi Minh City 700000
VIETNAM
Phone：+84 28 3636 1575

海外関係会社

グローバルな信頼獲得を目指して

1988年に韓国でヒドラジンを製造販売する会社を設立して以来、世界各地に生産販売拠点を設置しています。
それぞれの国や地域で尊敬される「よき企業市民」となるよう、私たちは日々努力を続けています。

We contribute to the lives of people
around the world by utilizing the power of materials.

U.S.A

大塚ケミカルアメリカ

South Korea

KOC株式会社

China

張家港大塚化学有限公司

Spain

トロセレンイベリカS.A.

ヘブロンS.A.

Spain

Indonesia

P.T.ラウタン大塚ケミカル

India

大塚ケミカルインディア

大塚グループ

大塚グループ　企業理念

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

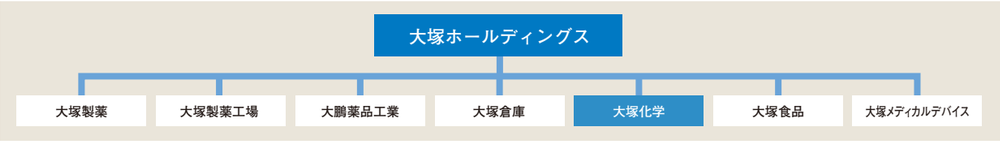
世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する

概　要

大塚グループは、1921 年に創業し、世界の人々の健康への貢献を目的に、疾病の診断から治療までを担う「医療関連事業」と日々の健康の維持・増進をサポートする「ニュートラシューティカルズ*1 関連事業」の 2 本柱で事業を展開しています。歴代の経営者が育んできた「流汗悟道」「実証」「創造性」という大塚の伝統を受け継ぎ、現在では世界 32 カ国・地域、196 社で 47,000 人*2 の社員が、大塚らしいユニークな製品・サービスを提供し続けるため活動を行っています。

＊1. ニュートラシューティカルズ：Nutraceuticals ＝nutrition（栄養）＋pharmaceuticals（医薬品）　＊2. 2022 年 12 月末現在。大塚ホールディングスおよびその子会社、関連会社

グループ構成



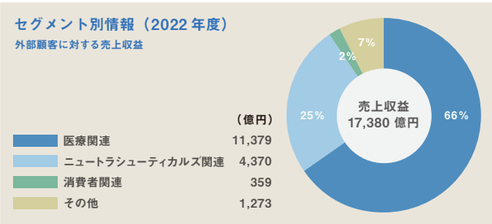
会社名	大塚ホールディングス株式会社（Otsuka Holdings Co., Ltd.）
設立	2008年7月8日
代表取締役社長 兼 CEO	樋口 達夫（ひぐち たつお）
資本金	816 億 90 百万円
本社	東京都千代田区神田司町2−9
事業内容	グループの経営戦略、管理ならびに事業専門サービスの提供

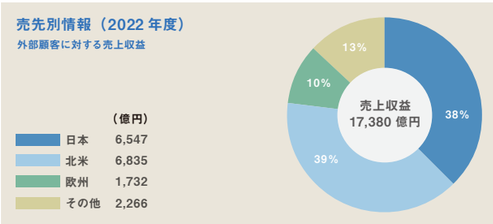
沿　革

1921 年：徳島県鳴門市に化学原料メーカーとして創業
1946 年：輸液（点滴注射液）事業を開始し、医薬品事業に参入
1965 年：消費者向けの健康飲料（オロナミンＣドリンク）を発売、ニュートラシューティカルズ関連事業に参入
1971 年：大塚製薬が大塚グループとして初の自社医薬品研究室を設立
1973 年：世界の人々の健康に貢献することを目的に初の海外進出
2008 年：グループ全体の持続的な企業価値向上を目指し、グループの純粋持株会社として大塚ホールディングスを設立
2010 年：東京証券取引所*市場第一部に上場
2021 年：創業 100 周年

＊2022 年 4 月より同取引所プライム市場に移行

財務内容





大塚ホールディングス株式会社の詳細はこちら ▶ https://www.otsuka.com/jp/

CSR 活動はこちら ▶ https://www.otsuka.com/jp/csr/hd_activity/

大塚グループ
サステナビリティ

大塚グループ　目指す姿

To become an indispensable contributor to people's health worldwide

世界の人々の健康に貢献する、なくてはならない企業

大塚グループのサステナビリティ

大塚グループは、企業理念のもと、事業を通じた社会課題の解決に取り組み、自らの持続的な成長と健康でサステナブルな社会の実現を目指しています。

企業理念

Otsuka-people creating new products for better health worldwide
世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する

目指す姿

To become an indispensable contributor to people's health worldwide
世界の人々の健康に貢献する、なくてはならない企業

サステナビリティミッション

大塚グループは、企業理念のもと、事業を通じた社会課題の解決に取り組み、自らの持続的な成長と健康でサステナブルな社会の実現を目指します。そのため、最適なガバナンス体制を土台として社会と地球の健康に貢献する各活動目標の達成に取り組みます。

大塚グループのマテリアリティ（重要項目）と主に関連するSDGs

マテリアリティ		社会課題	目標	活動	主に関連するSDGs
社会	健康	●満たされていない医療・健康ニーズの存在 ●感染症の蔓延 ●栄養ニーズの存在 ●高齢化に伴う課題の増加	●アンメット・ニーズ解決への貢献 ●結核の撲滅 ●健康なくらしの実現のための仕組み作り ●健康寿命の延伸	●アンメット・ニーズ解決に向けた研究開発促進 ●抗結核薬の研究開発と薬剤アクセスの向上 ●運動・栄養等を主テーマとした人々の健康維持・向上の支援、啓発活動 ●パートナーシップ強化による課題解決促進	2 3 4 17
	人材	●プレゼンティーイズム* ●多様化への未対応	●創造意欲を喚起する企業風土の醸成 ●従業員エンゲージメントの強化	●人材育成 ●ダイバーシティ促進 ●健康経営	3 5 8 10
	品質	●持続可能性を損なう消費・生産	●ステークホルダーの信頼の獲得 ●バリューチェーン全ての段階での持続可能性の追求 ●安心・安全のための品質保証体制の確立	●持続可能な調達と製品設計 ●徹底した品質管理と安定供給 ●責任ある販促活動と情報提供 ●ステークホルダーとのコミュニケーションの深化 ●「消費者志向経営」の推進	12
環境	カーボンニュートラル*2	●地球温暖化	●2028年目標：CO_2排出量を2017年比50%削減	●バリューチェーン全体のCO_2排出量削減	6 7 12 13 14 15
	サーキュラーエコノミー*3	●環境負荷の増大	●2028年目標：単純焼却・埋立を2019年比50%削減 ●2028年目標：PETボトルにおけるリサイクル原料及び植物由来原料の使用割合100%	●資源効率向上による環境負荷軽減 ●社会・地球共に持続可能な状態を目指した事業活動の推進	
	ウォーターニュートラル*4	●水リスクによる淡水の利用可能量減少	●2028年目標：工場の水管理プログラムをグローバル全拠点へ展開 ●2028年目標：水ストレス地域の事業拠点に対し水利用戦略立案	●水リスクの把握 ●水資源の管理と有効利用	
ガバナンス		●脆弱なガバナンス体制 ●社会変化によって生じるリスク	●長期的な企業価値向上	●コーポレートガバナンスの強化 ●水資源の管理と有効利用 ●リスク把握、評価、管理	16

*1出社しているにも関わらず、心身の状態の悪さから生産性が上がらない状態　*2持続可能なエネルギー利用　*3持続可能な原材料利用　*4持続可能な水資源利用

大塚グループのサステナビリティの詳細はこちら ▶ https://www.otsuka.com/jp/csr/

沿　革

技術と心でお客様の信頼にお応えして、大塚化学は成長を続けてきました。

１９５０年の設立以来、化学品製造販売のトップメーカーとして多くのお客様に信頼をいただいてきました。
大塚グループの中核企業のひとつとして、私たちはこれからも成長を続けてまいります。

1950 大塚化学薬品株式会社設立
「硝酸カリ」「ヒドラジン」等の製造販売開始
徳島工場（現 鳴門工場）を開設

1956 発泡剤「ユニフォームAZ」発売

1965 「オロナミンCドリンク」発売
※現在は大塚製薬（株）が販売

1968 「ボンカレー」の製造販売開始
※現在は大塚食品（株）が販売

1969 今切工場（現 徳島工場）を開設
資本金を24億円に増資

1974 ヒドラジン製造設備増設

1977 食品添加物（着香料）「マルトール」発売

1978 チタン酸カリウム繊維「ティスモ」発売

1984 大塚家具工業株式会社と合併し、
資本金を28億円に増資、家具事業部新設
大塚化学株式会社に社名変更

1988 韓国大塚化学株式会社（韓国）
（現 KOC株式会社）設立

1989 P.T.ラウタン大塚ケミカル（インドネシア）設立
ヘブロンS.A.（スペイン）を買収

1990 抗生物質中間体「GCLE」発売

1991 β-ラクタマーゼ阻害剤「YTR」原薬製造設備完成

2000 松茂工場を開設
チタン酸塩「テラセス」発売

2002 大塚食品株式会社を株式交換により子会社化
資本金を33億円に増資
大塚化学ホールディングス株式会社に社名変更
事業持ち株会社に移行
化学品・農薬肥料事業を継承する「大塚化学株式会社」
と家具事業を承継する「大塚家具製造販売株式会社」
を新設

2003 株式会社アグリベスト設立

2004 エムジーシー大塚ケミカル株式会社設立
張家港大塚化学有限公司（中国）設立

2006 大塚ケミカルインディア（インド）設立
トレセレンイベリカ（スペイン）に資本参加

2009 大塚化学ホールディングス株式会社が大塚化学株式会社を
吸収合併し、社名を大塚化学株式会社に変更
株式交換により、大塚ホールディングスの完全子会社となる

2010 アグリテクノ事業を分社化し、
大塚アグリテクノ株式会社を新設
（現OATアグリオ株式会社）
大塚ホールディングス株式会社が
１２月１５日、東京証券取引所市場第一部へ上場

2011 大塚グループ創業90年

2013 大冢材料科技（上海）有限公司設立

2014 Noble Skill Limited（香港）を買収
大塚華南精密器械（深圳）有限公司（中国）を買収
大塚ターフテック株式会社を子会社化
大塚ケミカルアメリカ設立
徳島工場「TERPLUS」プラント竣工
東山フイルム株式会社、東山塑料薄膜（上海）有限公司
（現東舶（上海）塑胶薄膜有限公司）を買収

2015 大塚ケミカルアメリカ「テラセス」工場竣工

2016 大冢化学（上海）有限公司
（現大塚化学管理（上海）有限公司）設立

2017 大塚ケミカルインディア（インド）のGCLEプラントを増設

2019 アステラス製薬株式会社よりセフィキシム事業の一部を承継

2020 神奈川県藤沢市に湘南ラボを設立

2022 シンクレスト株式会社設立

2023 ベトナム事務所開設

2 事 業 部 体 制 に よ る 化 学 品 事 業

素材を核とし、常に技術革新し豊かな暮らしを社会にもたらす製品づくりを目指しています。ヒドラジン事業、無機素材・複合材事業、医薬品原薬・中間体事業を中心とし「自動車」「電気・電子」「住宅」「医療」分野へグローバルに製品を提供しています。

情報電子 モビリティー 事業

日本初のヒドラジン工業化に成功。ヒドラジン誘導体を中心に、高い合成技術力で幅広いニーズに対応できる機能化学品、高機能ポリマーを提供しています 。また有機材料分野、無機材料分野をはじめ、新しい「素材」「樹脂複合材料」の研究開発・製造を行っています 。

情報電子・モビリティー事業部ではこれまでに培った有機・無機・高分子分野での化学品技術を基盤に、スマートデバイスやモビリティー市場等のニーズに合致した付加価値の高い多種多様な材料開発に取り組んでいます。本事業部は、材料提案に留まることなく、様々な業界へグローバルな視点でソリューションの提案を図っています。
例えば、ヒドラジンを出発点とて、アルデヒド消臭剤・樹脂用架橋剤・ゴム用添加剤などのヒドラジン誘導体事業、及び発泡剤事業等の有機系素材事業を行っております。私たちの特長として、原料からの一貫生産体制による高品質且つコスト競争力のある事業展開が可能となっており、汎用のヒドラジン誘導体のみならず、顧客のニーズに合わせたラボスケールからプラントスケールまでのカスタム合成対応が可能です。

また、大塚グループ誕生と同時に生産を開始した局方塩を中心とした無機塩類事業や、そこから派生したセラミックス製品の事業では、ブレーキ用材料、樹脂補強材、導電材などの多様な機能性フィラーの開発、製造販売を行っています。また、そのセラミックス技術を生かした熱可塑性樹脂複合材料も多くの分野で使われています。代表的な性能として摺動性、精密補強性、導電性、誘電性などの機能を持つプラスチックスの研究開発を行っており、射出成形による部品の製造や3Dプリンタを用いた造形も行っています。
高機能ポリマー事業では、独自のリビングラジカル重合技術である「TERP法」を用い、機能性ポリマー“TERPLUS”を事業化しています。現在では、顔料分散剤や粘着剤などの幅広い用途への展開を行っています。

主 力 製 品

硝酸カリウム

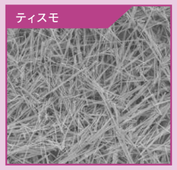
塩化ナトリウム

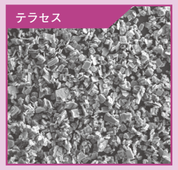
二塩酸ヒドラジン

アジピン酸ジヒドラジド

ケムキャッチ

TERPLUS

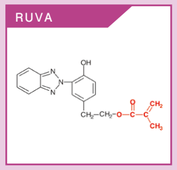

ティスモ


テラセス

ポチコン

成形品

Q-CHARGE


RUVA

無機塩類
アルデヒドキャッチャー剤
- ケムキャッチ

発泡剤
HH誘導体
- ヒドラジン塩類
- ヘテロ環化合物
- ヒドラジド化合物　アジピン酸ジヒドラジド, ドデカンジオヒドラジド, セバシン酸ジヒドラジド, イソフタル酸ジヒドラジド, 他

ゴム用添加剤
防食防錆剤
- シャダン（防錆剤、不凍液）、エフアール（洗浄剤）

機能性ポリマー
- TERPLUS（分散剤、粘着剤）

アゾ系重合開始剤
- AIBN,ADVN,AMBN,ACVA
- ノンシアンタイプ OTAZO-15,MAIB

素材
- ティスモ（ディスクブレーキパッドの主原料）
- テラセス（鱗片状、次世代ディスクブレーキパッド原料）
- RUVA（反応型紫外線吸収剤）

樹脂複合材料（ティスモ、テラセスを樹脂に複合化）
- ポチコン（精密補強性、表面平滑性、摺動特性）
- フィルム用ポチコン
- 成形品

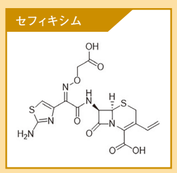
電気二重層キャパシタ（EDLC）
- Q-CHARGE（キャパシタ用電解液）

ライフ サイエンス 事業

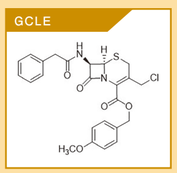
独自の技術による医薬品原薬・中間体、合成用原料の開発・製造は世界中から高い評価を頂いています。

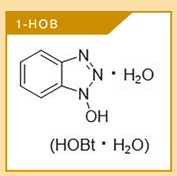
セファロスポリン系抗生物質の中間体である「GCLE」の独自開発に成功。その過程で蓄積した技術を基礎に、β-ラクタムを始めとする医薬品原薬・中間体の研究開発を進めています。芳香族系化合物を用いた医薬品中間体や合成用原料、香料などの製造も行っています。2006年にはインドに大塚ケミカルインディアを設立。「GCLE」の製造プラントとして稼動しております。最近ではセフィキシム（抗菌薬）原薬事業に注力しております。

主 力 製 品・サ ー ビ ス

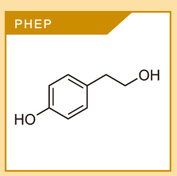

セフィキシム

タゾバクタム

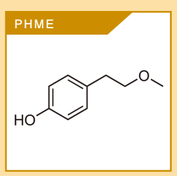

GCLE



1-HOB



PHEP



PHME

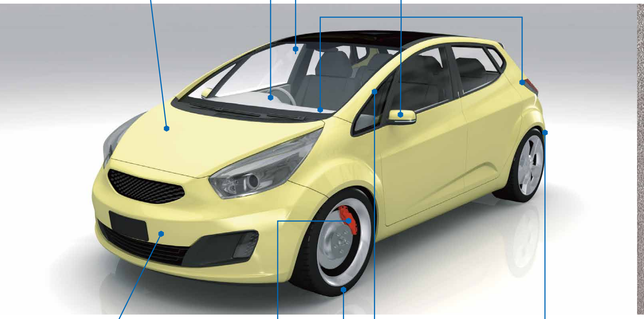
受託合成サービス
- 原薬（核酸／ペプチドなど）
- 間体（特殊アミノ酸／特殊アミダイト／など）

医薬品原薬
- セフィキシム（抗菌薬）
- タゾバクタム（βラクタマーゼ阻害剤）

その他医薬品中間体、反応剤、香料関連化合物など
- p-ヒドロキシフェネチルアルコール(PHEP)
- p-(2-メトキシエチル)フェノール(PHME)

「地球環境と豊かな暮らしへの貢献」のキーワードを軸に、皆様の 暮らしのさまざまなシーンで大塚化学の製品が使われています。

自動車関連



分散剤
TERPLUS
ブロックポリマー構造により顔料吸着、分散媒質和に作用する成分の配列を制御することにより、優れた分散性と、分散安定性の両立を実現します。

内装全般
ケムキャッチ
ホルマリンキャッチャー用途として自動車に使用実績があります。

フロントガラス
硝酸カリウム
ガラスの強度が向上します。

インテリア用発泡剤・電動パーキングブレーキ・クラッチ・ドアミラー部品・内装品
ユニフォームAZ
ポチコン
防音・防振、断熱材として車内の天井、意匠性の向上の為にインパネやドアトリムに使用されます。
チタン酸カリウム繊維「ティスモ」を熱可塑性樹脂にコンパウンドした複合材料です。高いせ法精度、耐摩耗性があります。

バンパー
デントールWK
チタン酸カリウム繊維の特徴を有しつつ、導電性も付与させた白色導電性セラミックスです。バンパーの静電塗装プライマー用導電材として使用されています。

ブレーキパッド
ティスモ・テクセス
高強度、高剛性、高アスペクト比を有するセラミックスです。ブレーキ用摩擦材やオイルフィルターに使用されます。

タイヤ
Azroad
タイヤの低燃費化や寿命向上などに寄与する原材料として、タイヤ用ゴムに配合されています。

ウェザーストリップ
ユニフォームAZ
ウェザーストリップに使用することにより、風雨、挨、騒音の侵入を制御します。

チッピング塗料
ヒドラジド化合物
塗料、接着剤などの分野で幅広く使われている硬化剤です。

電気電子機器関連

カメラモジュール
ポチコン
チタン酸カリウム繊維「ティスモ」を熱可塑性樹脂にコンパウンドした複合材料です。高いせ法精度とミクロ補強性を持つ高機能コンパウンドです。

LED
ポチコン
高反射、耐候性を付与し、ディスプレイの光源に使われるLEDのリフレクター用として使用されています。

ガラス
硝酸カリウム
ガラスの強化剤として使用されます。

断熱ブッシュ
ポチコン

定着ギア・滑り軸受
ポチコン

インクカートリッジ軸受
ポチコン

ドラムフランジギア
ポチコン

コンデンサー・還元剤
ヒドラジン誘導体

タッチパネル
ハードコートフィルム
飛散防止フィルム
この製品は大塚化学の子会社である東山フイルムが製造販売しています。

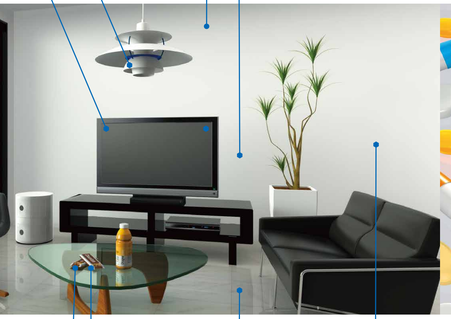
樹脂架橋剤
ヒドラジン誘導体
エポキシやアクリル等の熱硬化性樹脂に対して高い反応性を持ち低温での硬化を可能とする架橋剤として使用されています。

分散剤・粘着剤
TERPLUS
分散剤用途では、今までにない分散能を実現し、カラーフィルターなどの微分散が必要とされる産業に貢献しています。また、粘着材用途では、半導体などの電子材料や光学用途など、特に耐熱性や低汚染性を必要とされる分野で活躍しています。

メンブレンスイッチ
工業用印刷フィルム
この製品は大塚化学の子会社である東山フイルムが製造販売しています。

従動ローラー
ポチコン

住宅関連



LED
ポチコン
高反射、耐候性を付与し、ディスプレイの光源に使われるLEDのリフレクター用として使用されています。

ガラス
硝酸カリウム
ガラスの強化剤として使用されます。

内装塗料用消臭剤
ケムキャッチ
ホルマリンキャッチャー用途として建材、塗料といった様々な分野に使用実績があります。

建材用塗料
RUVA-93
反応基を有するベンゾトリアゾール型の紫外線吸収剤です。耐熱性や長期の安定性を求める塗料、フィルム用途に最適です。

香料
ピロマトール
食品添加物香料として使用されています。

食品添加物・食品加工
塩化ナトリウム・塩化カリウム・硝酸カリウム

壁紙
ユニフォームAZ
意匠性の向上

床用発泡剤
ユニフォームAZ
床材の緩衝性、断熱性、消音性を高めます。

医薬関連

医薬品原薬
β-ラクタム系
経口抗菌薬セフィキシム、β-ラクタマーゼ阻害剤タゾバクタムなどの医薬品原薬を供給しています。

輸液
塩化カリウム
塩化ナトリウム
塩化カルシウム二水和物
塩化マグネシウム六水和物

医薬品中間体
GCLE
p-ヒドロキシフェネチルアルコール (PHEP)
p(2-メトキシエチル)フェノール (PHME)
p-ヒドロキシフェニル酢酸 (PHPA)
セファロ系抗生物質の中間体であるGCLEを始めとする各種β-ラクタム化合物及び医薬合成原料の芳香族化合物等があります。

核酸／ペプチド医薬
核酸／ペプチド受託合成
(GMP/ Non-GMP)
この製品は大塚化学の子会社であるシングレスト株式会社が取り扱っています。

研究開発

世界が求める製品の研究開発に　努めています。

大塚化学株式会社の研究開発部門では、“創造的技術で顧客に貢献”を理念とし世界に通用する独自の技術でグローバル市場を目指した製品の研究開発を行っています。材料開発研究所、機能性高分子研究所、ゴム薬開発研究所、技術開発研究所があり、基礎研究及び応用研究、中間実験設備での試作から製品化までを担当しています。

材料開発研究所

画期的なオンリーワン製品の開発を目指して

大塚化学ではコア技術の創生により、顧客との信頼を構築し、持続的な発展を通じて社会に貢献する研究開発を行っています。

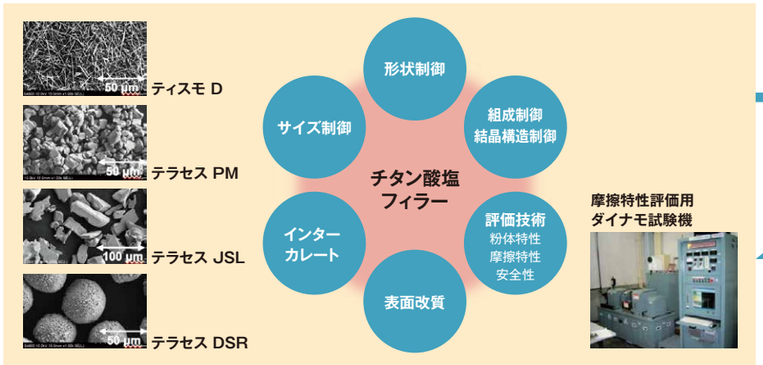
材料開発研究所では、無機材料開発・樹脂複合材料開発において、これまでの研究活動で培われた様々な要素技術をベースに、新たな市場ニーズと技術シーズの両面から研究活動を行い、オンリーワン製品の開発を目指しています。無機材料分野では、チタン酸塩を中心とした研究開発を行っており、優れた摩擦安定性・ミクロ補強性・摺動性を特長とする製品「ティスモ」「テラセス」は、自動車用ブレーキパッド等に使用されています。さらに、これら「無機合成プロセス技術」「粉体形状、組成制御技術」等を活かした電池材料・塗料分野への展開にも挑戦しています。

樹脂複合材料開発においては、「ティスモ」をベースにしたカスタムコンパウンド製品「ポチコン」の開発を行っています。「ティスモ」の機能を活かし、腕時計やスマホに搭載される精密部品、プリンタや自動車の機構部品などの身近な用途で幅広く使用されています。近年では「ポチコン」の特性を利用した「フィルム」、「ブロック」、「フィラメント」等　、「かたちにする」事業の拡大に向け、幅広い分野のお客様へアプローチを推進しています。

材料開発研究所は、「大塚化学は素材の力を顧客と共に創造的に、かたちにする会社です」の方針の下、その基盤となる技術・製品の創出を続けて参ります。

摩擦材用チタン酸塩の開発

様々な顧客ニーズに応えるために、化学的な見地からチタン酸塩の効果を追求しています。



チタン酸塩、フェノール樹脂、研削材、潤滑材等で構成

ディスクブレーキパッド

顧客ニーズ
- 効きの安定化
- 耐摩耗性向上
- 鳴き/ノイズ低減
- 環境安全性　etc.

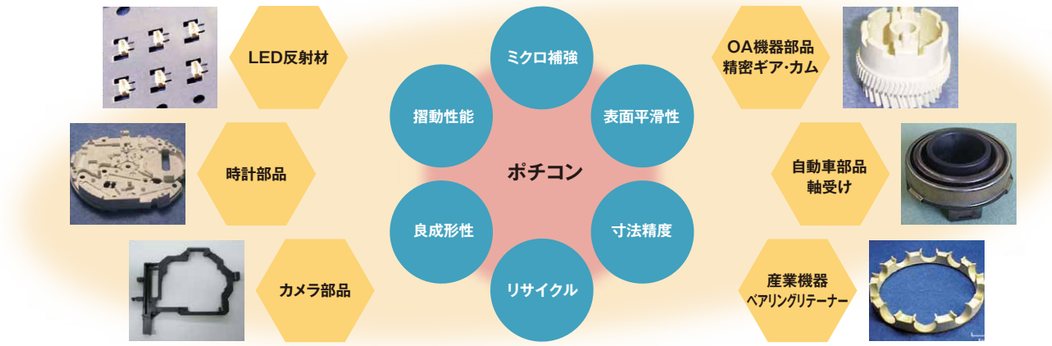
最近の学会発表

SAE Brake Colloquium & Exhibition (USA)／
2017: Interactions of NBR and Titanate on the Friction Surface as Related to μ Stability Effects in Low Load Conditions
2021: Effects of Titanate on Brake Wear Particle Emission
・Euro Brake (Europe)／
2018: Chemical Effects of Titanate Compounds on the Friction Surface
2019: Chemical Effects of Titanate Compounds on the Friction Surface – part 2
2022: Effects of Titanate on Brake Wear Particle Emission
・China Friction and Sealing Material Association (China)／
2017: Chemical Effects of Titanate Compounds on the Thermal Reactions of Phenolic Resins in Friction Materials

樹脂複合材料ポチコンの開発

様々な精密部品、摺動部品に最適な樹脂材料を提案します。

■ 用途展開



樹脂複合材料/加工品への適用

多様な顧客のニーズに対応するため、これまで培ってきた押出加工技術を基に、様々な形態に加工された樹脂複合材料を提案させて頂きます。

研究開発

ユニークケミカルで豊かなくらしに　貢献します。

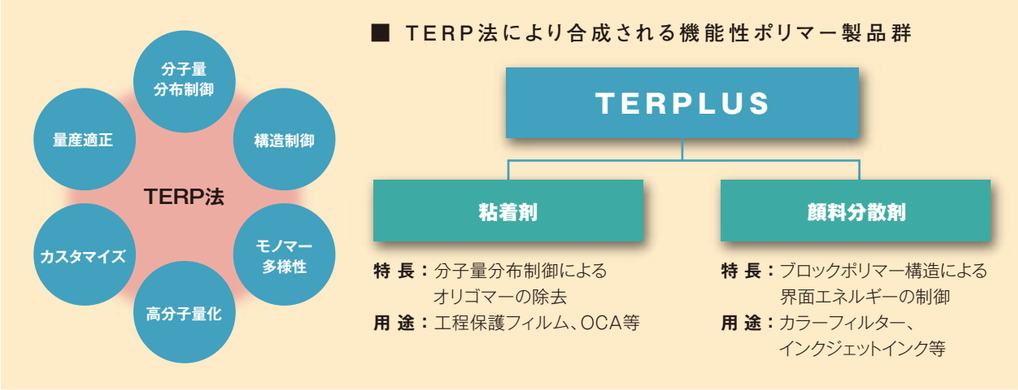
機能性高分子研究所

独自の制御ラジカル重合技術で、市場に新しい価値を提案する

機能性高分子研究所は、京都大学・山子研究室との共同研究により開発した独自の制御ラジカル重合法である「TERP法」を用いた機能性ポリマー材料の研究開発を行っています。「TERP法」はその高度な分子量制御、様々なモノマーに対しても適応できる幅広い汎用性、高い官能基耐性等の特長から、従来にはない新たな特性を持つ各種機能性ポリマー材料の設計が可能となります。これまでに高分子量領域での分子量制御の特長を活かした粘着剤や、制御ラジカル重合の特徴であるブロックポリマー合成においてモノマー汎用性の特長を活かした幅広い設計が可能な顔料分散剤の用途開発を進め、「TERPLUS」として市場に送り出しました。徳島工場内のTERPLUS専用プラント内のパイロット設備を活用し、製品化プロセス開発も行っています。
これからも市場に新しい価値を提案すべく、「TERP法」を活用した機能性ポリマー材料の開発を進めていきます。

機能性ポリマー材料の開発

市場の要求に応えるべく大塚独自の制御ラジカル重合技術「TERP法」の特長を活かした機能性ポリマー材料を提案します。

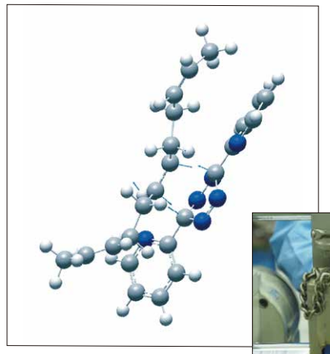


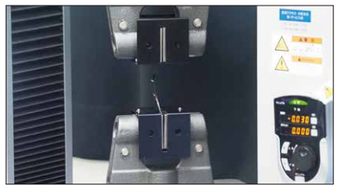
2014年：日本接着学会　技術賞を受賞
2018年：井上春成賞を受賞

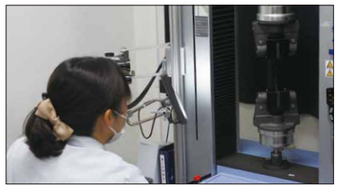
ゴム薬開発研究所

ヒドラジン化学で培った独創的技術力で環境に優しいモビリティ社会に貢献

ゴム薬開発研究所では、自動車用タイヤの低燃費性・耐久性などを向上させることができる特殊な有機薬品の研究開発を行っており、独創的な新規化合物の化学構造設計およびその有機合成から、それらのゴム材料特性における基礎評価に至るまで実施しています。大塚化学では、社内にゴムテストサンプル作製から基本的ゴム物性を評価できる設備を導入することで、新規添加剤の効率的な開発を行っております。また、これらの評価解析技術により、ゴム製品会社様へ的確な添加剤種類・その活用方法の提案ができることを目指しております。また、これらのグローバルでの商品化生産技術も担っています。







タイヤは、車の安全性・環境性・快適性に関わる重要な部品です。これらのタイヤの性能は使用されるゴム材料の特性に大きく左右されます。
高性能タイヤ用ゴム材料に、大塚化学で開発された世界初のオリジナル化合物が採用されております。それらの化合物は、ゴム材料の中に微量に存在しますので、決して目立つわけではありませんが、今般のモビリティ社会に大きく貢献しております。特に、車の燃費向上に繋がる低燃費タイヤへの薬品技術は、地球の二酸化炭素低減にも繋がる環境負荷低減に貢献しています。

研究開発

素材の力を顧客と共に「かたち」にします。

技術開発研究所

「開発」から「生産」の分野でグローバル市場での競争力をつくり出す

技術開発研究所は当社の既存ビジネスを、持続的イノベーションによって拡大し続けることをミッションとして活動しています。当社の製品は、国内だけではなく海外でも広く生産販売されており、我々の活動の場も全世界に拡がっています。世界中のお客様のニーズは多様ですが、「高品質、低価格、安定供給」は普遍です。このニーズに対して、世界中の競争相手と戦いながら、応えていくことが最大の使命です。

我々は機能性化学品分野では、日本で初めて工業化に成功した水加ヒドラジンを軸に各種ヒドラジン誘導体、発泡剤、アゾ系重合開始剤、イオン液体、紫外線吸収剤などの製造プロセス研究や製品化を行っており、お客様のニーズに合わせた各種誘導体のカスタム合成まで幅広い研究開発を行っています。医薬品分野ではβラクタマーゼ阻害剤である「タゾバクタム」やセファロスポリン系鍵中間体である「GCLE」の開発で蓄積した技術を基に各種医薬原薬・中間体の製造プロセス開発を行うことで、生産現場の強化、製品力の強化、また将来的な製品化に向けた研究開発テーマを推進しています。また安全に関しては「安全プロセス、安全設備で、安全確保」を旗印にして、革新的な安全プロセス開発を実践しています。あらゆる面で強いモノづくりにこだわって、これからも世界中に当社の製品を高い信頼と共に届けたいと思います。

受託製造

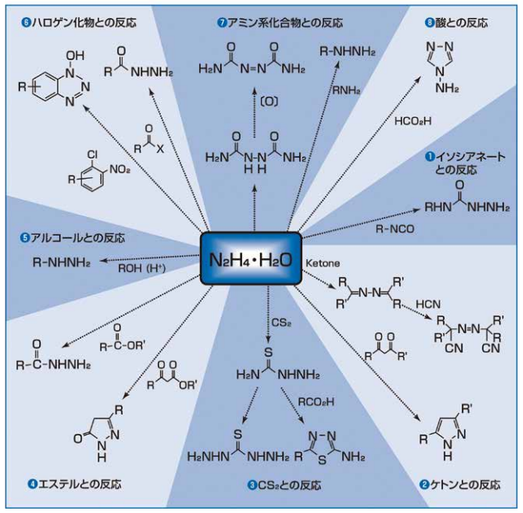
大塚化学は長年にわたり各種機能性ヒドラジン誘導体の開発、及びβラクタム系抗生物質原薬及び中間体の製造技術の開発に取り組んでいます。これまで培ってきた製造技術を基に製造プロセスの開発を含めて受託製造のニーズにお応えします。

機能性化学品

- ヒドラジン、ヒドラジン誘導体
- 有機/無機発泡剤
- 紫外線吸収剤、硬化剤、難燃剤

医薬品関連

- 医薬品原薬、医薬中間体
- 非臨床用原薬、臨床用原薬



国内工場

「環境に貢献する会社」として、工場でも地球温暖化防止に取り組んでいます。

徳島工場

徳島工場は1969年に開設。化学品のヒドラジンの生産を開始し、翌年にはボンカレー等のレトルト食品の生産を開始しました（食品事業は、現在、大塚食品（株）が行っています）。1973年に医薬品製造許可を取得しています。

医薬品製造許可品目；β-ラクタマーゼ阻害剤（TAZOBACTAM）

主な製造品

ティスモ（機能性無機繊維）
TERPLUS（分散剤・粘着剤）
マルトール（香料）
樹脂添加剤・軟化剤
樹脂改良剤
ヒドラジン誘導体

〒771-0193
徳島県徳島市川内町加賀須野463
TEL：088-665-1516　FAX：088-637-1099

鳴門工場

鳴門工場は大塚化学発祥の工場として、1950年に開設。無機化学製品、重合開始剤などの化学品からスタートしました。

主な製造品

無機塩類
重合開始剤

〒772-8601
徳島県鳴門市里浦町里浦字花面615
TEL：088-684-2266　FAX：088-684-2359

松茂工場

松茂工場は2000年開設。医薬品中間体の生産を開始し、翌年に機能性複合材料「ポチコン」「ウィスタット」の生産を開始しました。大塚化学としては最新の生産拠点となります。

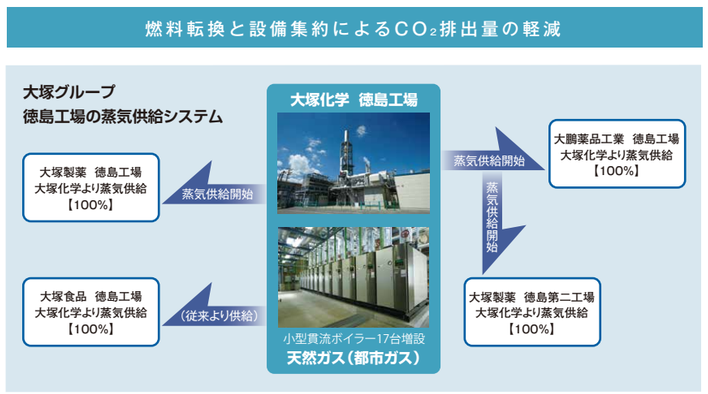
主な製造品

ポチコン（機能性複合材料）
GCLE誘導体（医薬品中間体）

〒771-0213
徳島県板野郡松茂町豊久字豊久開拓139-40
TEL：088-699-7980　FAX：088-699-7965

品質保証
安全道場

省エネルギーの推進や環境負荷の低減、環境配慮型の体制づくりに積極的に推進しています。



徳島今切地区で事業活動するグループ会社(大塚製薬徳島工場、徳島第二工場、大鵬薬品工業徳島工場)の各事業所では、それぞれで保有している重油ボイラー運用の見直しを行いました。大塚化学徳島工場が天然ガス(都市ガス)燃料の小型貫流ボイラー17台を設置し、各事業所の生産状況などの変動に合わせた運転管理を行い、2009年1月より一括して各事業所に蒸気供給することを開始しました。このことによって、蒸気製造で2011年の1年間に発生するC02量を大塚製薬の2工場分で700t、大鵬薬品工業の徳島工場分では2,200t削減することができました。

品質保証の取り組み

大塚化学の製品は、医薬、食品、自動車、電子機器、住宅など、様々な用途・分野で使用されています。お客様それぞれのニーズと品質要求事項、並びにそれぞれの業界で要求される事項を把握し、徹底した品質管理のもと、お客様に満足いただける製品づくりを行っています。

当社では、全社(一部の部署を除く)で品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001の認証を取得しています。また、国内外の関連会社においてもISO9001やIATF16949(自動車産業品質マネジメントシステム規格)などの認証を取得し、グローバルでの連携した生産・品質保証体制を確立しています。国内3事業所では大塚ホールディングス主導のもと大塚グループ各社と連携して環境管理推進活動を行っており、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001のグループ統合認証を取得しています。大塚化学は『信頼』を企業理念とし、お客様から信頼される製品を提供し続けるために、製品品質の向上を図るだけでなく、「ひとの品質」「しくみの品質」及び「しごとの品質」の継続的な向上を図っています。それにより、品質保証レベルの向上だけでなく企業全体としてのパフォーマンス向上、製品・サービスの品質・価値の向上、及び持続的な成長を目指しています。

安全道場

徳島工場内の安全道場にて、座学による安全知識の習得に加え、危険体感訓練を行うことで、ひとりひとりの危機感受性の向上を目指しています。こうした活動が評価され2014年に日本化学工業協会「第8回レスポンシブルケア賞」を受賞いたしました。

社員教育

社員教育の充実

大塚化学の社員ひとり一人が熱意をもって、日々チャレンジしています。

人材育成への取り組み

プロジェクトマネジメント研修

大塚化学は、人は経験により大きく成長するものであり、学んだことを確実に定着させるには、訓練と実践が大事だと考えています。この考えのもと、当社ではOJT(On the Job Training)を中心に人材育成を図るとともに、若い社員を、役職に関係なく大きなプロジェクトのメンバーに起用したり、責任あるポジションに抜擢登用したりすることを積極的に行ってきました。現在もこの考え方に変更はありませんが、近年の急激な社会・経済・業界の変化に伴いグローバル経営が急がれる中、体系的な人材育成にも力を入れています。

教育体系(階層別研修など)

階層別研修として、入社時やチーフ・係長・管理職への昇格時等の節目に集合研修を実施する一方、若手社員に着実に成長してもらいたいという思いから、入社2年目にフォローアップ研修、4-5年目にステップアップ研修等を手厚く行っています。また、海外赴任者向けに異文化対応・語学研修等を実施しているほか、次世代リーダー研修等の選抜型研修や、幹部や次世代人材を対象に、外部教育機関の経営を体系的に学ぶコースに派遣しています。また必要に応じて外部講師を招いて特別研修を行うなど、柔軟な育成を心がけています。

研修の模様

MBA取得支援制度

将来の経営人材・グローバル人材を育成する目的で、公募によるMBA取得支援を行っています。仕事との両立に加え、授業の多くが英語で行われますので、精神的にも体力的もハードですが、高度な経営学を学ぶことによるスキルアップだけでなく、英語力の向上や意欲あふれるクラスメートとの出会いなど、得るものが多く、社員にとっても挑戦し甲斐のある支援となっています。

2022年3月にMBA取得

自己啓発支援

社員のやる気と学習意欲を応援するための制度として、語学だけでなく、各種資格に対応した「資格取得報奨金制度」と「自己啓発補助制度(受講費半額補助)」を実施しています。また全額会社負担でe-ラーニングと英語能力検定を受けることができ、幅広い内容を自由に学べるよう環境を整えています。一方、毎月1回社内外より講師を招き、様々なテーマでオンラインの自己啓発セミナーを開催しており、社員は誰でも参加可能です。

ダイバーシティの推進

社会と当社グループの持続的成長を実現する取り組みの一つとして、「ダイバーシティ」を推進しております。

ダイバーシティ推進

当社では、ダイバーシティ推進委員会を設置し、経営戦略の一環として、人材の多様性充実を通じて、個々の能力発揮、知のシナジーを発現させることにより、組織としての成果を向上させ、魅力ある会社、社会に信頼される会社にすることを目的に、以下3つの会社方針に則ってダイバーシティ推進活動を行っており、ワークライフバランスの取組みや在宅勤務制度の導入、育児休職の取得推進、若手社員懇談会の開催などハードとソフトの両面の取組を実践しています。

① 意欲のある有能な社員が働き続けたいという会社にする
② 国・文化・性別の多様性に対応できる人材を育成する
③ グローバル展開における現地化（グローカル化）

大塚グループダイバーシティ
推進担当者会議

女性活躍推進

大塚グループでは、大塚ホールディングスが国連グローバル・コンパクトとUN Womenが共同で作成した、女性の活躍推進に自主的に取り組む企業の行動原則である WEPs（Women's Empowerment Principles)に署名しました。大塚化学は、女性活躍推進法に基づく認定制度で、2019年3月、えるぼし（三つ星）の認定を受けました。

健康経営優良法人２０２３

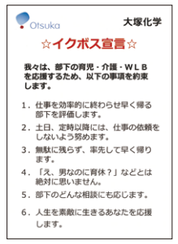
大塚化学は2020年6月に代表取締役社長の土佐浩平が健康宣言を行いました。健康でやりがいをもって働くことができる環境を整えることが会社にとって最優先事項の一つと考えております。そのため、大塚化学においては健康経営に取り組むため、健康経営体制を組織し『 大塚化学健康宣言 』に基づき、健康でやりがいを持って働くことができる環境整備の推進に取り組み、2023年に健康経営優良法人に認定されました。

ワークライフバランス

当社では、育児・介護と仕事の両立を支援する勤務制度を充実させています。例えば、育児短時間勤務、育児時差勤務制度は、子供が小学校3年生終了時点まで、介護短時間勤務、介護時差勤務は対象家族1名につき、1年間利用が可能です。さらに、ノー残業デーや在宅勤務制度を設けるなど、ワークライフバランスの向上に努めています。
2020年には優良な「子育てサポート」企業として「プラチナくるみん」が、厚生労働大臣より認定されました。

イクボス宣言

新しい時代の理想の上司（イクボス）を育てていこうとする企業のネットワーク『イクボス企業同盟』に2019年に加盟し、イクボス宣言をしました。当社では、全ての社員が仕事とプライベートを充実させ自分らしく活躍できるよう、部下のキャリアと人生を応援しながら高い業績を上げ続けることができるイクボスの育成に積極的に取り組んでいます。当社は人生を素敵に生きるあなたを応援します。



Otsuka 大塚化学

☆イクボス宣言☆

我々は、部下の育児・介護・WLBを応援するため、以下の事項を約束します。

1. 仕事を効率的に終わらせ早く帰る部下を評価します。
2. 土日、定時以降には、仕事の依頼をしないよう努めます。
3. 無駄に残らず、率先して早く帰ります。
4. 「え、男なのに育休？」などとは絶対に思いません。
5. 部下のどんな相談にも応じます。
6. 人生を素敵に生きるあなたを応援します。

グローバル人材交流制度

当社グループのグローバル展開に資する人材の発掘と育成、ならびに当社のダイバーシティー推進活動の一環として、2014年度よりグローバル人材交流制度（Global Exchange Program）を設けました。現在は海外関係子会社から社員を2週間～3ヶ月間受け入れ、当社グループや日本を理解してもらうための研修プログラムを実施していますが、次のステップとして当社社員の海外子会社での実地研修プログラムを並行して実施する構想です。

グローバル人材交流施設見学

事業所内保育所

大塚グループでは、徳島、大阪、つくばに事業所内保育所を設置しています。徳島は2011年の開園当初は100人だった定員を、2014年には150人、さらに2018年には210人に増員し、事業所内保育所としては国内最大級の規模になりました。社員の多様なライフスタイルをサポートし、安心して仕事を継続できる環境を整えています。

大阪

徳島

関連データ

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
女性管理職比率（対管理職全員）	9.4%	9.6%	10.4%	10.9%	12.3%
女性管理職比率（対女性正社員全員）	25%	27%	24%	25%	28%
管理職比率（対正社員全員）	32%	31%	30%	31%	32%
障がい者雇用率	2.2%	2.1%	2.3%	2.3%	1.9%
有給休暇消化率	67%	64%	61%	63%	69%
女性の育児休業取得率	-	-	100%	100%	100%
男性の育児休業取得率	-	-	19.4%	16.7%	39%

※ 2022年4月末現在、9名の外国籍社員（中国、韓国,フィリピン）が在籍しています。

福利厚生

大塚グループには社員の福利厚生施設として、会社が直接運営する保養所が4ヶ所、大塚製薬健康保健組合と大塚製薬企業年金基金が契約している保養所が5ヶ所あります。

大塚潮騒荘（徳島）

大塚比叡山荘（滋賀）

大塚天城山荘（静岡）

つるぎ山荘（徳島）

社会貢献
コミュニケーション

豊かな暮らしを提供するために、文化・教育 などの社会貢献活動を行っています。

より良い製品の研究開発だけでなく、豊かな暮らしのための社会貢献活動にも大塚化学は取り組んでいます。伝統行事や学校教育への支援、清掃活動など、さまざまな貢献活動をこれからも続けてまいります。

阿波踊りへの参加　～大塚はつらつ連～

徳島では、日本三大盆踊りのひとつ「阿波踊り」が地元地域の活性化に繋がっています。大塚化学も企業連として、1963年に「大塚化学連」を結成して以来、1988年に「大塚はつらつ連」に名前を替え、8月のお盆に従業員やその家族と共に参加活動しています。

大塚はつらつ連の阿波踊り

学校教育への支援

大塚化学は、グループの大塚製薬、大鵬薬品工業と共に、徳島県など産官学共同で進める「環境首都　あどぷと・エコスクール」制度にもとづき、徳島市内の学校と協定を結んで環境教育の支援をしています。自分たちが暮らす町の水質調査や、事業所における環境配慮の取り組み状況の見学を通じて、環境保全への興味を深めてもらっています。

トマト選果場見学

高校生による水質調査

清掃ボランティア活動の実施

多くの従業員とその家族の参加を得て、各事業所の周辺地域の清掃活動を行っています。

事業所周辺の活動

サスティナビリティ

2012年より、大塚グループでは、大塚one　Rreport　として、CSR報告書を発刊することになりました。2017年からは、大塚グループの統合報告書として報告させていただいております。

大塚グループのCSRサイト　**https://www.otsuka.com/jp/csr/hd_activity/**

統合報告書　**https://www.otsuka.com/jp/csr/library/**

大塚国際美術館
OTSUKA MUSEUM OF ART

https://www.o-museum.or.jp/

大塚国際美術館

大塚国際美術館は、大塚グループ創立75周年記念事業として徳島県鳴門市に設立した、世界で類をみない「陶板名画美術館」です。

古代壁画から世界26ヶ国190余りの美術館が所蔵する現代絵画まで、大塚オーミ陶業の特殊技術により西洋名画1000余点を陶板で原寸大に再現・展示しており、原画の美術的価値を余すことなく半永久的に伝えています。

また建物は、鳴門の美しい環境や景観を守るために山の中に建設され、地下3階から地上2階にわたり「環境展示」「系統展示」「テーマ展示」の3つの方法で、より深く、楽しく絵画を理解していただけるようになっています。またアートを身近に感じていただけるよう多彩なイベントを実施しています。

徳島ヴォルティス

徳島ヴォルティスは、大塚製薬サッカー部を母体として、2004年に地元自治体とともに地域の活性化をめざし、誕生したチームです。2019年から美馬市、大塚製薬株式会社、徳島ヴォルティスの3者で「健康増進のためのプログラム事業（※SIB事業）を開始し、2020年に「Jリーグシャレン!アウォーズ」のパブリック賞を受賞、2021年には美馬市がスポーツ庁から「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰」を受賞。そして2023年、笹川スポーツ財団発行の「スポーツ白書2023」にこの活動が掲載されています。

トップチームは現在J2ですが、J1復帰をめざし戦っています。今後、ますます地域貢献に力を入れてまいります。

※SIB…ソーシャルインパクトボンド
民間資金を活用して社会課題解決型の事業を実施し、
地方公共団体がその成果に応じて対価を支払うスキーム。

TOKUSHIMA VORTIS

http://www.vortis.jp/

©2009 T.V. CO.,LTD.

Otsuka

大塚化学株式会社

本　　社
〒540-0021 大阪府大阪市中央区大手通3-2-27
Phone：06-6943-7701　Fax：06-6946-0860

東 京 本 部
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2
Phone：03-5297-2727　Fax：03-5297-2777

中 部 エ リ ア 事 業 開 発 室
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-5-28　桜通豊田ビル13F
Phone：052-571-5526　Fax：052-571-5527

https://www.otsukac.co.jp/

VEGETABLE OIL INK

2023/07